



山名一族会報

全 國 山 名 氏 一 族 会
 〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区
 村岡2365法雲寺内
 電話 0796-19811151
 FAX 0796-19811161

第29回山名会総会及び歴史探訪を実施

去る11月19日〜20日にかけて第29回山名会総会及び、総会関連行事として歴史探訪の小旅行も実施しました。今回の総会行事には、25名の皆さんにご参加頂き、福山を起点に尾道・東広島と秋が深まった備後路を巡りました。今号では、その行事の概要をご報告します。

第1日目（11月19日）

総会予定日の数日前から寒気が入り込んで少し不安定な気候となり、行事への影響を心配しましたが、当日は少し寒さが残ったものの、西に向かっているほどに天候も回復し、行事期間中は傘の心配は要らないようです。

福山駅集合

今回は全体で25名のご参加、その内4名の方が自動車2台での参加でした。バス利用の参加者は12時過ぎに、福山駅南口に集合とご案内していましたが、事務局としては予定通りの時間に全

員が集合できるかが不安でしたが、皆さん各方面から案内していた新幹線に乗り継がれて、予定時間よりも早く全員が揃われ、一安心でした。バス乗車後は福山駅の北側まで駅を大回りして福山城博物館へ、此方で自動車利用の参加者の皆さんとも合流も出て、いざ、お城を目指します。

福山城博物館

此方では、福山城のボランティアガイドの方に、お城についての大まかな歴史や成り立ちについて説明をして貰い、今は姿を留めて居ませんが、山名氏時代の備後国守護所であった神辺城から移築された



説明を受ける参加者／神辺櫓跡の碑



櫓の跡についてもお聞きいただきました。今回は訪問出来なかった神辺城の名残を福山城で少し感じられたような気がします。

今の福山城は令和4年に築城400年の大改修を行い、天守閣内の展示を一新し体験型展示も増やして魅力の見える内容でしたが、短時間の見学時間しか取れなかったのが残念



福山城／お城に隣接する福山駅

念なところでした。

西国寺

福山城から50分余り西にバスで向かうと尾道です。西側は2号線バイパスをおりて山名寺の参道から西国寺を目的地にしました。西国寺は奈良時代に行基菩薩によって開かれたお寺で、かれこれ1300年の歴史を有します。室町期に備後国の守護職となつた山名氏は、火災に遭つた西国寺復興に手を貸して、山名氏による建と言われている。また、山上にそびえています。また、6代將軍義教の三塔は足利のもので、今回は、持仏堂に上げていた。今回は、参加者全員で般若心経のお勤めを行い、山名先人の証大菩提と一族の



西国寺金堂の前で記念写真

安泰をお祈りしました。

尾道市街散策

西国寺参拝の後には、尾道の観光ガイドの方に道案内をお願いして、3つのグループに分かれて、小路が入り組む坂と港の町である尾道を歩いて巡りました。

西国寺山から市街地へ下って街並み散策



という浄土真宗のお寺があります。行事直前に知ったので、大田垣姓が続いているとのことでした。その歴史を見ると、播磨の亀山御坊で出家得度した(大田垣)行英法印が1573年に開山したとのこと。お寺の説明にも竹田城の太田垣との繋がりが記してあり、掲げてあった紋も木瓜紋であるの流に山名四天王太田垣氏の播磨経営からの撤退、但馬山名の没落等により、武家か



福善寺境内。寺紋は木瓜紋。

千光寺山、天寧寺

ら仏門に入った山名縁者も多いのですが、此方の開基もその中のお一人かも知れません。

西国寺山を下って市街地に入ると、次には千光寺山に登るためにロープウェイの駅へと向かいます。ロープウェイは標高差130メートルを3分ほどで登り、全く異なる景観が見渡せるところに連れて行ってくれます。

この千光寺山の頂上から、しまなみ海道つたいに対岸の



千光寺境内。尾道市街を望む。



天寧寺三重の塔と天寧寺境内。

四国まで広がる眺望を楽しんだ後に、文学碑が随所に設置されています。小径を下り、昔は岩肌を巧みに活かした千光寺境内を参拝して、徐々に近づいてくる麓の景色を楽しみながら、天寧寺まで下ってきました。

天寧寺は、山名時熙公が、敵島詣での帰りに立ち寄った足利3代将軍義満公を御接待したお寺と聞きます。

天寧寺下の浜辺から、沖合に停泊した御座船まで、並べた小舟の上に板を渡して仮設の橋を作り、將軍をお招きしたという舟橋の故事が有名です。しかし、義満公から褒めを頂いた翌年、時熙は足利公の怒りを遜な所が有ると山名氏清に時熙を成敗するよう命じて、明徳の乱へと至り、命を失った。念願の地であったと

同時に、因縁の地であるとも言えます。

年次総会・懇親会

天寧寺から麓のバス駐車場へ着くと時刻は5時を少し回っており、周囲は既に暮色に包まれていました。ここでバスに乗車し、宿舎のホテルに一旦チェックインして、その後、総会と懇親会の会場である竹村家へと移動をしました。

竹村家は、尾道水道に面して建つ明治創業の料理旅館で、建物自体が国の登録有形文化財に指定されているという立派な会場です。今回は会員さんのご紹介で使用させてもらいました。会場の二階大広間からは、昼間ならば海を行き交う船や対岸の様子もよく望めるのですが、夜でしたので、港や船の明かりがぐらいたる



竹村家玄関・懇親会の一場面

また、「仙石庭園」は、日本唯一の銘石に関する公益法人立の博物館として学術資料の展示や研究、保管の役目も有しています。数多くのスタッフの皆さんを支えられて、今後も益々発展を続けて行くかと思うと、訪来が楽しみです。また、訪れてみたいところでは、

広島城

午後の出発は1時の予定でしたが、仙石庭園の居心地が良かったので少し出発時間が伸びてしまいました。広島城でも地元ガイドさんに案内をお願いして、表御門から入場して護国神社参拝や広島大本営跡の見学等をし、城天守閣に向かったのですが、



山名苑主みずから案内と説明をして頂いた。



幾つもの庭があり様々な銘石を配置



正に大大名の庭園の風格



落差15mの仙神大滝



石それぞれに物語がある。



『奇跡の地球庭園 仙石庭園』

山名苑主著書

尾道や福山とは外国人観光客の多さが違っていて、天守閣内では、流れに沿って進む感じの見学となりました。広島市の観光ガイドさんには、我々が遅れてきた為に十分な説明が出来なかった事を気にされて、広島城から広島駅に向かうバスに乗車してしまいましたが、出来なかつた時間までお話ししていただきありがとうございました。遅刻してご迷惑を掛けたのは我々の方です。最後に、観光ガイドさんには最後までお付き合いました。誠に有り難う御座りました。

広島駅解散

広島駅到着は午後3時半で、予定通りの解散となりました。大抵の方は4時台の幹線を予定しておられた。みなさん、お帰りの準備ができてお帰りください。何かのことがありましたら、歴史探訪行事が終わって試みる、



広島城での1枚。(ガイドさん撮影)

ついで、見学予定を欲張って詰め込み過ぎてしまい、その結果、時間の遅ればかり気にするようになった。重大な反省点です。次回、見る場所を絞り込む。時間に余裕を持たせたい。思いがけず計画を立てたいと思います。来年は豊国公400年の遠忌に関する行事を考えて居りますので、ゆったりとした時間割で行事を行えるように計画したいと思えます。計画がまとまりましたら、行事へのご参加を、どうかよろしくお願ひ致します。

編集後記

第29回の山名会総会へのご参加有り難う御座いました。若干の赤字が出ましたが、ご協賛も有って想定範囲で会計を閉じることが出来そうです。

年次総会で、本年度の活動として「豊国公四百年祭」をご提案したところ、皆様のご賛同を頂きました。早速に計画を相談したいと思えます。多分京都・東林院の豊国公墓前での法要を中心とした行事になるかと思えます。総会時に申しましたように、「親戚の大伯父さんの法事」のような格式張らない集いにしたいと考えて居ます。計画が整いましたら、ご案内申し上げますので、多くの会員様方のご参加をお願い致します。